

### 30 葉っぱと根っこー全校集会の理科ー

子どもたちの前に立って話すことは楽しい。全校朝の会も楽しみの1つである。最後の勤務校となった生駒小学校では、毎月1日に全校朝の会を開くことになっていた。では、1年に12回あるかというところ、そうではなくたった8回なのである。それは、1日が休業中であったり、9月のように始業式に当たるときがあるからである。生駒小学校に転勤したのは、定年の4年前の4月であったから、この学校では、全部で32回しかないことに気づいた。だから、

「いつも新鮮な話題を準備し、同じことは2度と話さない」

「1年生が分かり、高学年も興味をもつような話し方を工夫する」

「理解を深めるための、教材教具を工夫する」

の3つの努力点を決めて取り組むことにした。そして、年間を見通した計画を立てると共に、必要に応じて内容を入替え、校長の行う授業と位置づけていた。全学年、全児童対象というこの授業は、通常の授業とは異なったものである。そこには、児童と指導者あるいは児童同志の言葉のやりとりもない。しかし、話の組み立て、具体例の取り入れ、教材教具の活用などは、平素の授業にも参考になるのではないだろうか。したがって、この時間は、児童への話であると共に教員に対しては、

「この目標の達成のためには、こんな素材が役に立ちますね」

「このような話の進め方もできるのではないですか」

「それぞれの場に応じて教材教具を工夫することが大切ですよ」

「大きな声、小さな声など、話のしかたを工夫してはどうですか」

という問題提起の場でもあった。

運動場で、体育館で、あるいは、校内テレビを使っての全校朝の会やその他の学校行事での話には、子どもたちから生き生きとした反応

が返ってきたことを思い出す。こうしたもののいくつかについては、請われて「校長の講話」といった書にまとめたものがあるので、ここでは理科に関係するものを1つあげてみたい。

これは、夏休みの全校登校日のことである。校内テレビで話すことになったこの日は、ちょっとした小道具を準備して、次のような話をした。

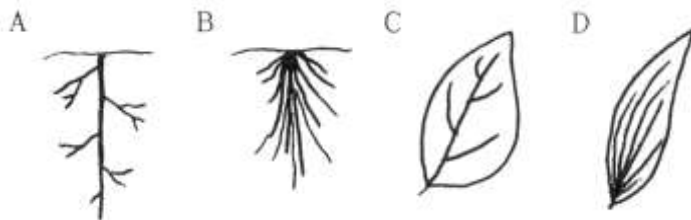
このようなテレビを使つての話には、直接子どもたちと向き合うことがなく、子どもたちの反応を確かめながら話すことはできないという欠陥がある。しかし、ものは考えようである。教室にいる子どもたちから見れば、極めて近いところに話し手がいて、提示される実物や模型、あるいは、絵や図が見やすいという特徴もあるのである。

.....

雨の降らない毎日、暑いですね。生駒でも水が足りなくなってきました。「飲み水のほうが、もっと大切だ」ということで、「プールを使ったらだめ!」ということになったのは、とても残念なことでした。

でも、困っているのは人間だけではありません。運動場の桜の木、学級園のサツマイモなどの植物も同じことです。こうした植物も、雨の降らない今年の夏を、一生懸命にがんばって生きています。

植物は、根から水を吸って生きていますが、植物によって根の形が違います。大きく分けるとAのような根とBのような根になります。



面白いのは、根がAの形をしている植物の葉っぱの筋（葉脈といいます）は、たいていCのようになっていることです。Bのような形の植物の場合はDです。葉っぱをぐるっと回して、葉っぱの柄を上にとすると根の形に似ていることに気づきますね。

ですから、葉っぱの筋をよく観察すれば、  
「この植物の根はこんな形をしているよ」  
と当てることができるのです。

ところで、  
「いつでも水がいっぱいあるところに生えている植物の根は、十分には育っていない（成長していない）ことが多い」  
のだそうです。それよりも、雨が少なく水不足で暮らしにくいところの植物が、長く強い根を伸ばして一生懸命に、そして、元気に生きているのです。

「ああ、めんどうだな」  
と、最近、水やりがいいかげんになっている私の家の植物が意外に元気なものもこんな訳からかも知れません。

「生物が生きていくには必要な条件がある。でも、あまりにも恵まれ過ぎた環境だと本来成長するべきところが十分に成長できない」

「草や木が生きていくのには、なくてはならないものがある。でも、なんでもかでもそろっていると、こんなにしなくてほとがんばることがなくなってしまって、りっぱに育つことができなくなる」  
そんな心配があるのです。

人間も生き物ですから、植物と同じところがあります。「暑ければクーラー、寒ければストーブ」ではなく、ちょっと我慢することで暑さに勝つ力・寒さに勝つ力ができてくるのです。自分自身の力が育っていくのです。

まだまだ暑い日が続きそうです。無茶をしてはいけませんが、  
「あれが欲しい」「これも欲しい」  
ではなく、ちょっと我慢する心が、より強い人間にしてくれるのです。  
先生もがんばります。いっしょにがんばりましょう。

.....

こんな話をして 10 日あまりで 2 学期が始まった。最初の日の大掃除のあと、何人かの子どもたちが校長室にやってきた。

「校長先生、B型の根っこは固かったよ。ぼくががんばって引いたよ」  
「ぼくと〇〇ちゃんは、葉っぱを見て根っこを当てる競争をしたよ」  
話したことがきちんと伝わることはうれしいことである。そのために、どのようにすればいいのか、常に工夫したいものである。それは、どの教科にも言えることである。